

DESIGN
STUDIO

重層的支援体制整備事業に係る デジタル化 検討会3

2024/9/3
日立製作所

はじめに

昨今、80代の親が50代の子どもの生活を支える8050問題や、介護と育児のダブルケアなど住民が抱える課題が複雑化、複合化する中で、従来の支援体制では相談者に対して満足いく支援を行うことが困難になってきていると認識しております。

本活動では相談支援現場でのデジタル化検討を行い、職員様の業務負担軽減・相談品質の向上と、質の高い相談支援業務の持続的な遂行を目指します。

第3回のデジタル化検討会では、

検討会2回目で参加者の方に投票いただいた「ありがたい姿」を参考にさせていただき作成した、システムの機能案、画面案を共有いたします。実運用で使用することを想定していただき、改善点や不足点についてご意見をいただきます。

第3回デジタル化検討会 実施概要

- 時期：9/3(火)13:00-16:30 3.5時間
- 場所：千葉県教育会館本館303会議室
- 参加者：以下のとおり（A～Cの3グループに分かれてWSを実施します）

グループA

グループB

グループC

参加者名は非公開

開始時間	時間目安	実施内容
13:00		開会
13:00	0:10	プロトタイプ機能案についてのご説明
13:10	0:10	プロトタイプ概要のご説明
13:20	0:30	WSの目的や流れの説明、アイスブレイク 第2回検討会のふりかえり
13:50	0:20	貼りだし資料の説明とプロトタイプ対象範囲(シナリオ)の説明
14:10	0:10	質疑応答
14:20	1:00	グループでの議論
15:20	0:10	休憩
15:30	0:30	全体での共有
16:00	0:25	質疑応答、ふり返り
16:25	0:05	次回告知、その他ご案内
16:30		閉会

別資料でご説明いたします。

ありがたい姿一覧と投票結果サマリ

グループ協議では、共感するありがたい姿に投票(3票/人)→投票理由を議論→議論結果を踏まえて再度投票(3票/人)→再度議論という流れで進行。全グループの合計得票数はA、C、H、K、M、D、Oが上位の結果となりました。

書類の作成・記録

- 1点** 記載すべき情報(目的やゴール)などの明確化によって、相談や記録の質が上がり、支援の質が向上する
- 2点** どの機能が役でも正確に伝わる表現を、適切な量で伝えることで記録の質が上がり、支援の質が向上する
- 3点** 共通ルールに則り、記録資料の品質が上がり、支援員の負担が軽減される
- 4点** マスニング条件や、共有・閲覧範囲が明確化されることで、書類作成時間が短縮され、情報共有が活性化される
- 5点** 相談者と支援員の双方に心理的安全性を高めることで、素早く情報が引き出せるようになり、支援の質が向上する

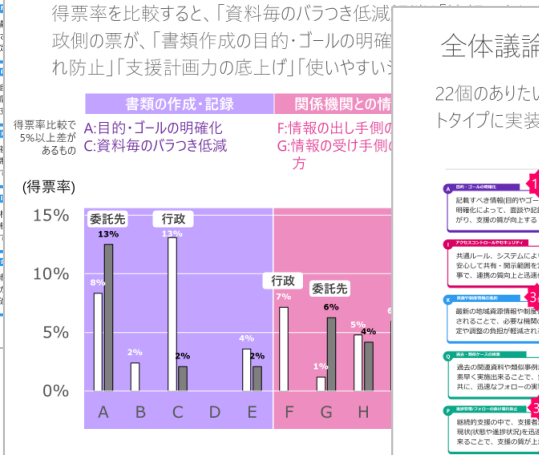
関係機関との情報連携

- 1点** 情報の出し手が、受け手機関への配慮と敬意をもって、相談の目的やゴールを含めて情報共有出来る
- 2点** 情報の受け手が、共有された情報の解釈や、観念の違いを埋める合意形成中心が育まれ、連携の質が上がる
- 3点** 必要最低限の手間で、複数機関に素早く情報連携でき、支援員の負担が軽減される
- 4点** 共通ルール、システムにより、迷わず安心して共有・閲覧範囲を定められる事で、連携の質向上と迅速化が進む
- 5点** 情報入手後の対応関係や、すぐに回答できる体制構築により、連携の質向上と迅速化が実現される

HITACHI Inspire the Next

投票結果 (行政-委託先比較)

得票率を比較すると、「資料毎のバラつき低減」「資料毎のバラつき低減」「資料毎のバラつき低減」行政側の票が、「書類作成の目的・ゴールの明確化」「支援計画力の底上げ」「使いやすい」委託先側の票が、



HITACHI Inspire the Next

全体議論結果 (ありがたい姿に対する考察)

22個のありがたい姿の中から、特に議論が活性化されたものとの関係性を整理した上で、デジタル化アイデアの方向性と、プロトタイプに実装すべき機能を検討中です。

活発に議論されたありがたい姿

- 1点** 記載すべき情報(目的やゴール)などの明確化によって、相談や記録の質が上がり、支援の質が向上する
- 2点** どの機能が役でも正確に伝わる表現を、適切な量で伝えることで記録の質が上がり、支援の質が向上する
- 3点** 共通ルール、システムにより、迷わず安心して共有・閲覧範囲を定められる事で、連携の質向上と迅速化が進む
- 4点** マスニング条件や、共有・閲覧範囲が明確化されることで、書類作成時間が短縮され、情報共有が活性化される
- 5点** 相談者と支援員の双方に心理的安全性を高めることで、素早く情報が引き出せるようになり、支援の質が向上する

デジタル化アイデアの方向性

- 共通のルール・フォーマットで運用できること
- アクセスコントロールが可能なこと
- 検索/照会ツールとして使えること
- 支援状況のモニタリングができること
- コミュニケーションツールとして使えること


プロトタイプの実装機能

- 相談者情報の記録
- ロールに応じたアクセスコントロール
- 資源・制度照会
- 過去事例・統計検索
- 進捗管理・フォロー
- 会議調整

議論をよりクリエイティブにするためのポイントは

リズムカルに！、テンポよく！、そして楽しく！

- | | |
|----------------|---------------------|
| ① 思ったことは口に出そう！ | 質より量！尻馬にのり、意見を発展させる |
| ② 否定→自分ならこうする | 課題を乗り越えるアイデアを |
| ③ 立場を超えて！ | 所属する組織や役職にとらわれない意見を |
| ④ 全員が主役です！ | 主体性を持って参加する |



アイスブレイク！
おひとり30秒を目安にお願いいたします

- お名前とご所属/業務内容
- 好きなスポーツ

HITACHI
Inspire the Next